

【 2013 年 5 月 24 日 ・ テニス 】



世界を見据えたジュニア支援プロジェクト YONEX **VAMOS・J** 2013 始動



将来にわたり、世界で活躍する選手の育成を図るヨネックスのジュニア支援プロジェクト『YONEX VAMOS・J2013』。3年目を迎える本年は5月10日から3日間の日程で近畿ブロックキャンプよりスタートいたしました。戦績および将来性に鑑み、選ばれた子供達は2泊3日の合宿で多くのことを学びました。

開催レポート @近畿地区(兵庫県ビーンズドーム)

5月10～12日の近畿ブロックキャンプでは計32名が参加し、オンコートクリニック、セミナー、マッチからテニスを勉強しました。

今年のオンコートクリニックでのテーマは『Accuracy:精度』。ボールの精度を上げるべく、ラケットのスイートエリアにボールを当てることや、正確に的を狙う練習などを行いました。また、昨年度のテーマ『スピード』を活かしてボールをヒットするために、身体の動きをコントロールするトレーニングを重点的に行いました。

セミナーでは前デビスカップ日本代表監督の竹内映二氏が、努力の積み重ねと失敗を恐れず情熱を持ち続けることの重要性を講義し、グループディスカッションではテニスの上達に必要な要素について話し合い、お互いに考えを深め合いました。



関節の正しい動きを引き出し、最大筋力を発揮させるためのトレーニング。



指導にも自然と熱が入ります。



成長のために何をすべきか、自分自身と向き合う貴重な3日間となりました。

YONEX VAMOS・J 概要

YONEX VAMOS・J は、中学1、2年生のクラスと小学生のクラスを対象に試合とクリニックを融合させたキャンプを実施。スキル力、実践力の養成を後押する「日本における、日本人コーチによる、日本人選手のための育成システム」です。

<YONEX VAMOS・Jの意味>

VAMOS：スペイン語で「前へ、先へ」 **J**：Junior、JAPANの頭文字

<活動目的>

- テニス競技の普及・発展
- 日本人選手の育成・強化
- トップ選手育成システムの確立

<キャンプ概略>

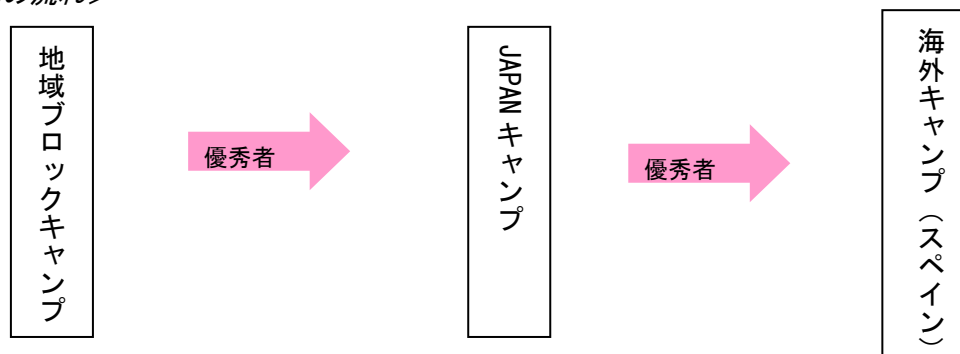
種目/参加人数：中学1、2年生のクラス、小学生のクラスの男女シングルス/各ブロック最大32名

地域ブロック：北海道、東北、北信越、関東、東海、近畿、中国/四国、九州 計8ブロック

活動内容：2泊3日の合宿。オンコートクリニック、セミナー、試合など

地域ブロック選手選考方法:2011年度以降のJTA公認全国大会地域予選シングルス出場経験者の中から、プロジェクトスタッフが戦績および将来性に鑑み、選考。

<活動の流れ>



<コーチングスタッフ>

スーパーバイザー：小浦猛志氏（日本テニス協会常務理事）、
畠中君代氏（ビッグKテニス代表取締役／校長）

ヘッドコーチ：竹内映二氏（前デビスカップ日本代表監督）

プロデューサー：中山芳徳氏（ワールドジュニア（14歳以下）日本女子代表監督）

コーチングプロスタッフ：坂本真一プロ、兼城悦子プロ、辻野隆三プロ、長塚京子プロ、
本村剛一プロ、岩淵聡プロ、吉田友佳プロ、白田浩史コーチ、
五藤健介コーチ等

トレーナー：田島孝彦氏、金子和宏氏、林本悠トレーナー

ディレクター：二本松一（ヨネックス株式会社）

アシスタントディレクター：首藤康一、宮坂元人（ヨネックス株式会社）

プロコーチングスタッフコメント

兼城コーチ：練習量が多い地域である事が伺え、一生懸命さが伝わってきました。ただ練習するのではなく、なぜ上手いかわからないか。また、なぜ上手いかったかを繰り返し、一つ一つ真剣に取り組んで地道な努力をしてほしい。『継続は力なり』です。

本村コーチ：技術レベルは高いですが、積極性に欠ける場面が見られました。マッチでも積極性のあるジュニアが、競り合う局面で強さを発揮しています。意欲的な行動を心がけましょう。